

ふれあいネットワークはちまんたい

福祉だより

2011.3月発行

No. 20



主な内容

- 福祉懇談会の様子…P2~P3
- 社協窓口業務……………P4~P5
- フオット広場……………P6~P7
- お知らせ……………P8

広がるたすけあいの輪
力合わせて心ひとつに

三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震は、津波により沿岸部に大きな被害を及ぼしました。

「被災地の子どもたちを少しでも勇気づけたい」と、平館小学校児童会執行部が、いち早く募金活動に立ち上がりました。

三月十七日の朝、「よろしくお願いします」と学校昇降口で募金を呼びかけました。

募金活動には児童だけでなく、保護者や地域の皆さんの応援もあり、たくさんの善意が寄せられました。

被災地の復興に向けた支援助とたすけあいの輪が日に日に広がり始めています。

動計画に！「地域福祉懇談会」

毎年開催しております福祉懇談会を、西根地区・松尾地区・安代地区の各会場で開催し、平成二十年度に策定した地域福祉活動計画について、平成二十三年度見直しに係る意見、質問、要望等をいただきましたので紹介します。

福祉懇談会に子供たちの出席を【安代会場】

安代福祉センター
二月二十三日(水) 五十一名出席

「いきいきふれあいサロン事業」

市民 安代地区二十三カ所とありますが、詳しく教えてほしい。

社協 サロンは、荒沢地区十二カ所田山地区十一カ所市全体では七十三カ所です実施しています。今後も増やしていくよう努めたいと考えています。

市民 サロンに小学校の子供たちがきて一緒に交流し、大変盛り上がり地域につながりができています。

市民 子供たちの地域に対する思いを聞いて、ぜひ福祉懇談会に参加することができないかお

願いたい。
社協 懇談会に子供たちが参加することは可能と思われれます。(学校側から)

「スノーバスターズ活動」

市民 結成された当時から参加しているが、中学生と一緒に活動していることで、元気をもらい楽しく活動しています。

市民 スノーバスターズ対象者の選定について教えてほしい。

社協 民生委員から除雪が難しいと思われる方をお知らせいただき、本人の同意を得て活動しています。

市民 今年度初めて登録し活動しているが、体を動かすことから健康のためにもなっているし、中学生と一緒にいうことで楽しみにしています。

「老人クラブ活動」

市民 老人クラブに入ると役員をお願いされるといふこともあって会員が増えない。

市民 老人クラブという名称に抵抗があるのでないか。事務局になる人がいない。クラブとサロンが共同したらどうか。単位クラブの活動が活発になることが重要と思われれます。

(安代会場)



今こそ隣組のつながりを【松尾会場】

総合福祉センター
二月二十五日(金) 三十六名出席

「スノーバスターズ活動」

市民 我が地域は古くから近隣で除雪活動しており、世帯減少により閉塞感が取り巻く中、今こそ隣組を盛んにする必要がありと思われれます。農機や除雪機を所有している世帯が多い地域では協力を願うことも必要と思われれます。

市民 近隣の付き合いが薄い地域は、バスターズ活動が必要と思われれます。

市民 近隣の活動とバスターズ活動の連携が取れています。
社協 バスターズ活動については、協議会の呼びかけや意見聴取が足りない側面がありました。意思疎通を積極的に働きかけをしていきます。

「いきいきふれあいサロン事業」

市民 老人クラブとサロンとの関係がうまくかみ合っていない地域もあるので、固定しているサロンもあり、社協のほうで的確な指導をしてほしい。

市民 課題を抱えているサロンの情報を共有して、解決を探っていくことが必要ではないか。

市民 私たちのサロンでは、定期的に子供たちと交流を図って世代間交流をしています。

市民 サロンで近隣の話題等が弾んでおり、ボランティアの協力で参加者がいつも多いです。

社協 二十三年度は各サロンの様子を把握するためにサロンカレンダーを作成し、各サロンを訪問しよりよい事業にしていきたいと考えています。

「ネットワーク事業」

市民 いわておげんきまもりシステム事業について説明をお願いします。

社協 岩手県社会福祉協議会主催事業で、一人暮らし高齢者等

一人ひとりの声を福祉活

が、自己責任で電話回線を通し安否について毎日連絡する事業です。社協と民生委員やみまもり協力員の連携も重要になってきます。利用者負担が一カ月三百円程度となります。



社協の活動が低下しないように「西根会場」
西根地区市民センター
二月二十八日(月) 八十四名出席

「ネットワーク事業・福祉懇談会」
市民 計画の中でネットワーク会議を定期的にとありますが、開催されていますか。

社協 ある地域でみまもり員、民生委員で連絡会を開催しました。今後も順次会議をもってい

きたいと考えています。

市民 福祉懇談会を分散型にし、一人でも多くの声を聞くようにして欲しいし、関連する行政機関も入って連携を強化してほしいです。

社協 福祉はこれでいいということではなく、行政も入ってお互いに声かけをし、声をつなげていきたいです。

市民 前回の懇談会での要望等についての報告はどうしているのですか。

社協 懇談会についての報告は、福祉だよりでご案内しています。今回の懇談会についても福祉だよりに掲載します。

「ふれあいいいきサロン」

市民 合併したが、地域の活動は大事であり、サロン事業は大変良いことです。子供たちとの交流もあり地域の活性化につながっていることから助成金を削ることなく、継続してほしいです。

社協 サロンは、安否確認や生きがい対策など地域の活性化につながっています。市の委託事業であることから今後も継続をお願いしていきます。

「移送サービス事業」

市民 移送サービス事業需要が増えている中で、事業のPRを

し運転ボランティアの登録を願っています。

「配食サービス事業」

市民 ボランティアが配達し社協が実施していた西根地区の配食サービス事業がなくなった。社協としてサービスの位置づけ、実施について検討したほうがいいのではないですか。

社協 配食回数を増やすにあたり、対応については市と協議した結果調理については市が専門業者に委託し、配達についても安否確認を含め業者に委託することになりました。現在西根地区では市から委託を受けた業者によりサービスが行われています。

「その他」

市民 一人暮らし高齢者事業の考え方を少し拡大し、多くの方の参加ができるように検討して欲しいです。

社協 現在一人暮らし高齢者に線を引きしているが、今後事業の向け方については、検討し皆さんと考えていきたいと思っています。

市民 市で補助している入浴券の交付について、前回の懇談会でもお願いしたが、団体が申請できるようにして欲しいです。

社協 前回の懇談会后行政に申し入れをしていましたが、再度

申し入れをします。

市民 地域福祉活動計画に対して、現在どのように社協が進行しているかを問います。

社協 現在活動計画に沿って事業等を展開していますが、三年で見直しということから、皆さんからの声をできるだけ反映していきたいと考えています。

市民 会費の収納率がさがってきていることについての理由は何か。社協が地域に見えていないところもあり、他の市町村も研修しながら合併してサービスが低下しないよう努めてほしい。
社協 会費については、合併し一時収納率が下がりましたが、今年度は少しですが上がってきており、より住民の皆さんに手が届くよう努力していきたいと考えています。

